

2023年3月1日
第561号

(毎月1日発行)

咲いたネット

URL:

http://www.saitanet.or.jp

Eメール:

saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル

TEL 048-838-0771

FAX 048-838-0775

編集発行人

埼玉県労働組合連合会

【定価】1部50円

(組合員の購読料は組合費に含む)

労働者の権利を守る学習 働くなかまの春をよぶつどい

埼玉春闘共闘、埼労連女性部・非正規部会、労働法制埼玉連絡会主催の2023働くなかまの春をよぶつどいが2月19日(日)午後1時30分から、さいたま共済会館6階ホールで開催され、現地とオンライン合わせて、約100人が参加しました。

実行委員会を代表して、労働法制連絡会代表委員の新島 埼労連議長のあいさつの後、全労連副議長の秋山正臣氏を



秋山さんの講演

講師に、「働き方改革に隠された策略」と題して、その狙いや、私たちが求める改革についての課題を報告してくれました。

報告では、使用者責任を放棄する「裁量労働制の拡大」などに対して、労働時間管理の規制強化や休日取得促進のための環境整備の必要性などについて、全労連の進める運動と絡めて報告があり、最後に「要求実現のためにも組織



オンラインでの報告

拡大」が重要だと締めくくりました。

講演の後、3人から事例報告があり、①教職員の「未配置・未補充」問題と埼玉高教連動・分会活動について、埼玉高教の小野さんから、②個人事業主の労働環境の問題点と改善にむけたとりくみについて、建交労軽貨物ユニオンの高橋英晴さんから、③有期雇止め脱法行為から雇用を守るたたいについて、理研労組の金井保之さんから、それぞれのとりくみについて報告をいただきました。

つどい終了後は、個別の労働相談のほかに、現地参加の有志が集まり、浦和駅東口で春闘の宣伝行動を実施して、駅利用者や近隣住民にアピールを行いました。



浦和駅東口宣伝

埼労連第50回評議会のご案内

埼労連は、2022年度上半期の運動の総括と下半期に向けた取り組みを確認するため、第50回評議会を左記の日程で開催します。

日時 3月25日(土)
午前10時～午後4時30分頃まで
場所 さいたま共済会館 6階ホール

議題 年度上半期の総括・下半期の運動の基調
役員補充選挙など

※今回は現地参加のみ、1日の開催で予定しています。

紙面から

■働くなかまの春をよぶつどい

(1面)

■中立労組・団体訪問

(4面)

■労働局と懇談

(2面)

■春闘のとりくみ(組織拡大・学習)

(5面)

■最賃院内学習会

(3面)

■埼労共のページ

(8面)

最賃の再改定を要請

2月20日(月)に、23春闘期の労働局への要請行動に先駆けて「最賃の再改定」を求める要求一点で埼玉労働局賃金室と懇談を行いました。

埼玉連とコープネットグループ労組が提出した要請書に基づく懇談で、埼玉連からは、新島議長、加藤幹事、コープネットグループ労組からは、占部委員長(埼玉連副議長)と、橋本執行委員(埼玉連幹事)、医労連から清宮書記次長(埼玉連非正規部会長)が参加、労働局は小暮室長以下4人が対応しました。「物価の高騰に最賃改定額が追いついていない。ぜひ審議会で検討を」と求めたことに對して、「埼玉だけで進めるのは難しいが3月に予定されている今年度最後の審議会には、要請の趣旨は伝える」と回答がありました。

コープネットグループ労組からパートで働くなかまの厳しい状況を訴え、埼玉連が提起している最低賃金を1500円に引き上げる

ことと最低賃金引き上げを担保するための中小企業・小規模事業主への支援策の拡充を監督官庁へ求めることなどについても改めて要望し、45分間意見交換を行いました。

今回の懇談で、改めて今の最低賃金制度の課題、特に中央審議会主導で進められる有り方の問題点がはつきりとしたので、全労連がすすめる最賃アクションプランの実現をめざすとりくみが求められます。



労働局賃金室と懇談

泊まりの討論集会を開催

翌週には経営者要請も

JMITU埼玉地本は1月21日(土)〜22日(日)、鬼怒川温泉駅近くの藤原公民館で第2次春闘討論集会を実施しました。

埼玉地本では、コロナ第8波のなかではありますが、「40年来の物価高での賃上げとなる。きちんと討論していきたい。同じ釜の飯を食べて、ストライキで闘う力にしたい」との執行部の思いがありました。参加者は埼玉連含め12人でしたが、それぞれの支部・分会の状況を詳しく聞くことができました。

気持ちが高まった討論集会でした。埼玉連から新島議長、渋谷幹事が参加しました。

討論集会を受け、1月26日(木)には、経営者事前要請行動を展開、役員を中心に午前8時30分に地本事務所に集まり、2コーズに分かれて終日の行動でした。地本は今回、意識的に職場の支部・分会が所属する地域組織からも参加してもらおうと、当該の地域組織に依頼をして取り組みました。

「ストライキが実施できない職場は朝の5分や10分からでも始められる」、「なぜ国民がいじめられてきたのか」、「平和問題がなぜ労働組合に大事なのか」をはじめ、軍備拡大による国民の経済問題、原発再稼働など幅広い討論ができました。

討論のまとめでは「支部の執行委員が、支部を引っ張っていく。蛇は頭から脱皮するように、頭(執行部)から！」と23春闘への



久しぶりの泊まりの集会

日本信号に日信工業の現状をしっかりと伝えること、若い人を採用することなどの要望も伝えました。

JMITU埼玉地本では、支部・分会で中央本部の春闘方針と要求討議が行われており、埼玉連の埼玉ビッグアクション(地域総行動)の2月22日(水)に要求提出を予定しており、国民春闘共闘・全労連が全国に呼びかけている一斉回答日である3月8日(水)に回答を引き出し、交渉に入っていきます。回答に不満の場合に、翌日3月9日の23春闘全国統一行動にストライキで立ち上がる方針を討議しています。

格差是正と大幅引き上げ実現へ 最賃引き上げ求め院内集会

全労連など国民春闘共同委員会が2月17日に国会内で「最低賃金の格差是正、大幅引き上げをめざす」院内集会をオンライン併用で開催しました。

集会には与野党の国会議員が駆け付け、物価高騰への対応、全国一律や1500円への引き上げなど最低賃金について、それぞれ発言しました。

埼労連でも講演会に招いた自民党の務台俊介衆院議員（自民党最低賃金一元化推進議員連盟事務局



黒澤事務局長の提起

長）は、地元の長野県からオンラインで参加し、「物価高騰から国民の生活を守るのは国会の仕事、格差是正めざして引き続き頑張ります」と訴えました。立憲民主党の末松義規衆院議員は、「『103万円の壁、130万円の壁』の解決も重要だし、最賃が1500円になれば経済効果が大きい」と話しました。集会に初めて参加した日本維新の会の串田参議院議員は「中澤先生の話を聞いて、大都市の方が物価が高いという思い込みを改めることができた」と感想を述べました。

議員のあいさつの後、全国各地で最低生計費調査に携わってきた中澤先生（静岡県立大学短期大学部准教授）が「最賃の変化による社会問題の改善」と題して、最低賃金が全国一律1500円になったら、生活はどう変化し、経済はどう変わるのか講演しました。

報告の中で、高知県で調査に協力してくれた大学生が「高校まで東京で生活していて、高校生の時



中澤先生の講演

のアルバイトは時給1250円だったのに、大学で高知に来たら時給820円になった、納得できない」と、地域別最賃制の矛盾を訴えたことが報告され、地域間格差のある最賃の課題が浮き彫りになりました。

今回の院内集会では、新たに日本維新の会の議員が参加したことで、主要政党のほとんどからの参加となり、最賃を巡る情勢が大きく動いてきています。全労連がすすめる「最賃アクションプラン」の実現に向けて大きな前進を感じられる集会となりました。

当日は、埼労連から新島議長と加藤幹事が現地（衆議院第二議員会館）に参加しました。

文化行事と学習会で元気に！ 坂戸・鶴ヶ島春闘共闘

今年の坂戸・鶴ヶ島地区春闘共闘の春闘行動は、県下総行動の一環として、2月11日（土）午後6時30分から坂戸市オルモホールを会場に、集会と文化行事を開催しました。

前半はパラグアイの民族楽器アルパの弾き語り奏者・池山由香さんによる演奏と歌で「コンドルは飛んでいく」など日本でもおなじみの楽曲を演奏しました。

途中で、坂戸市近隣で「愛とヒューマンのコンサート」を主宰している今野さんからウクライナ・ミャンマー難民支援募金の訴えがありました。

休憩を挟んで後半は埼労連事務局次長・尾形氏の講演で、短時間ではありましたが中身の濃い内容で分かりやすく話をしてもらいました。

全国最賃マップ、最低生計費調査の図表などを使って、主に賃上げ要求額の妥当性について、21年度の企業所得80兆円、海外と比較しても20年以上にわたって実質

賃金の減少が続いている現状を解説してもらい、世界的な物価高騰を受けての国内外の労働闘争の進捗状況、地元・比企労連の運動の教訓も報告してもらい、今後の坂戸鶴ヶ島地域の運動に大きな影響を与えそうです。

コロナ禍で中々活動ができず、久しぶりの行動でしたが、9労組21人が参加し、希望と元気をもらえた夕べとなりました。

（坂戸・鶴ヶ島地区労発）



文化行事の演奏会

中立労組や商工会を訪問

草加八潮地区労

草加八潮地区労は、1月26日(木)午前9時30分から中立労組・関係団体への春闘要請訪問を行いました。地区労・金井副議長、数見事務局長、新婦人草加支部の森田さん、埼玉土建八潮支部から池田書記長、堀口執行委員が参加しました。

議所、草加八潮医師会、草加広聴相談課、草加市農業委員会事務局、草加市内J A 3支店、八潮市内コースは八潮市農協、八潮商工会、東武バス労組と、全部で14カ所を訪問しました。

ハローワーク草加では、所長が対応してくれ、最賃関係では「時の高い都内に人が流れている。学卒にはホワイトカラーが人気、運輸ドライバーの募集セミナーを

まず5人でハローワーク草加(写真)を訪問、その後、二手に分かれて、草加市内コースは石福金属労組、理研ビタミン労組、クレンシア日本製紙労組、草加商工会



ハローワークへ要請

域総行動集会のチラシ等を担当者に手渡ししてきました。

当日は、団体訪問と合わせて、草加市役所に「住民の雇用と暮らしを守る2023年春闘期における要望書」を提出しました。商工会議所は会頭不在で、次回訪問を計画し、最賃署名の協力やインボイス制度反対の協力を依頼する予定です。

蓮田地域労連

蓮田地域労連は、埼玉ビッグアクションのとおりくみとして、2月8日(水)午前10時30分から蓮田市商工会と「コロナ禍から地域住民の暮らしをまもり地域経済活性化」に向けた懇談を行いました。

蓮田市商工会からは、毒島事務局長、磯事務局長兼経営支援課長、地域労連からは、藤原副議長、中澤事務局長、埼玉土建岩槻蓮田支部の美田書記長、埼労連・加藤幹事が参加しました。

最賃引き上げの影響については、そもそも人手不足で最賃では人材確保できず、今いる人が他へ流出してしまわないためにも、さらなる最賃アップは必要だとい



蓮田市商工会にて

点では意見が一致しました。そのための中小企業に向けた支援策については、埼労連が作成した「最低賃金の改善のため、中小企業支援の拡充を求める提案」を使って意見交流し、今日は参加できなかった会長にも目を通してもらい、感想などいただけるようお願いしました。

蓮田地域労連は今回、蓮田市商工会と初めて懇談をしましたが、今後、蓮田市の地域経済活性化をめざして、定期的に懇談の場を設けていこうということになりました。

(蓮田地域労連発)

新支部を結成

全労連・埼玉ユニオン(SU)は1月15日(日)午後4時から深谷駅ギャラリー1を会場に、働く仲間の権利と暮らしを守る北部の砦として、北部支部結成大会を開催し5人が参加しました。県内9番目の支部となります。

SU北部支部は、未組織労働者の様々な相談に乗り解決の支援をしていきます。また、熊谷地域労連、深谷寄居地労連、本庄・児玉地労連と協力・共同で運動をすすめます。

結成大会では、SU方針をもとに当面の方針、および支部長、副支部長、労働相談担当などを決めました。



深谷ギャラリー1にて

スタートアップ講座も好評

埼教組の加入促進月間

埼教組は、1月23日から2月28日が入入促進月間になってい

ます。

そのなかでも、1月30日からの1週間は、重点期間「つながるウイーク」でした。対象者とのつながりと組合員同士のつながりを呼びかけました。対象者とのつながりに関しては、対話130の目標に対し、一週間で278対話の報告があり、「学習会へ誘った」



「『組合に入りませんか』と直球勝負」「OBと共済説明会をした」など、各地で旺盛に取り組みました。

組合員同士のつながりに関しては、「食事を開いた」「結集できていない組合員に電話した」「来年度の体制について話し合った」など、こちらも様々な声が寄せられました。また、埼教組LINEオープンチャットも交流の場になっていきます。給食でカレーの献立が4日続いた「冬のカレーまつり」や、市教委による学校課題研究の押し付けなど、各地の教育問題についても交流しています。

オンラインであっても、まさに「集まれば元気、集い合えば勇気」です。

青年に目を向けると、「せんせいスタートアップ講座」(写真)は、次回で4回目。若い教員や学生が参加し、学級レクや業務の効率化など、多様なテーマで盛り上がっています。

(埼教組発)

春闘学習会

所沢地区労

所沢地区労は2月13日(月)午後6時30分から所沢地区労会館で「23国民春闘ビックアクションー

『いのちとくらし』を守る学習会」を行いました。当日は、埼労連・新島議長による講演、それを受けて各労組・団体からの報告と活動交流を行い、9組合・団体18人の参加がありました。

講演では新島議長が表やグラフを使い、国内の状況を海外の状況と比較しながら話していただき

「なんで、こんなに生活が苦しいの?」「なんで賃金が上がらないの」などの私たちの疑問に答えてくれる講演でした。後半の活動交流は、保育園の組合からは「なかなか賃金が上がらず、劣悪な労働環境のなかで保育をしている」、教職員組合からは「コロナ禍で7人も教師がいなのに補充がない。妊娠代替がいなくて体育の授業はやらなくていいと言われた」等々、各組合からコロナ禍や物価高騰のなかでの苦しい生活に見合う賃上

新任教員に組合加入を訴え

埼高教は、組合員拡大のとりくみとして、1月に任用継続の要求を聞きながら組合加入を呼びかけ7人が加入しています。

2月は新任の教員向けに新任グッズ(埼高教委員長の手紙、加入届、組合紹介パンフ、新任研修アンケート、共済パンフ)と、5

年・10年・20年を迎えた年次研修対象の教職員向けにアンケートを



地区労会館にて

作成し、研修が終わる時期に合わせてグッズを配布し、アンケートへの協力を求めながら要求を聞きながら、対話して労働組合への加入を訴える取り組みをすすめています。

2月4日(土)には県教育委員会主催の教職員スタートアップサポートの会場前で、この4月から着任する教職員に、埼高教主催の

2月7日(火)には、「2023年春闘期における所沢市への要求書」にもとづき、所沢市と市政懇談会を行いました。また3月3日(金)夕方には、所沢市内の主要4駅前で23春闘一斉宣伝行動を予定しています。

着任直前交流会は3月21日(火)午後3時から5時まで、埼玉教育会館の2階ホールで行われ、全体会では「1、2年目の先生から体験談」、高校や特別支援学校について何でも聞ける・話せる交流会としてグループトークを予定しています。

(埼高教発)

労組・団体訪問など地域活動

春日部労連

春日部労連は2月8日(水)、市内の中立・連合加盟の労働組合へ2月の地域総行動(ビッグアクション)への協力要請のため訪問をしました。訪問先は、東武鉄道労働組合春日部支部、春日部自動車教習所労働組合、日新工業春日部工場労働組合、平山製作所労働組合の4労組です。当日は、春日部労連役員と江口・埼労連アドバイザーの4人での行動でした。



スクラム
2023年2月28日 発行
労働組合のつどい
早朝宣伝からスタート
何としても、一律1500円の実現を
今でしょ!
高橋賞引上げ中小企業の実践で

「あたらしい戦前」でなく、憲法を生かす新しい社会を！
軍拡 NO・大幅賃上げ実現
2・26地域総行動への結集を
14団体の
中小企業団体への申し入れ・中労組合の協力要請
「戦争やだ、の声を巻き起こそう」

暮らしたいのちをまもる大宣伝行動として春日部駅西口での大宣伝を計画しています。今回は行動への参加要請と連帯のメッセージを頼りにうかがいました。平日の日中だったため、労働組合役員との懇談はできませんでしたが、それぞれ受付で丁寧に対応してもらえました。

ここ3年、コロナ禍で訪問行動ができませんでしたが、今後の足掛かりとして大事な訪問となりました。

(春日部労連発)

比企労連

比企労連は1月30日(月)に23春闘課題で団体訪問を実施しました。訪問先は、JA埼玉中央、比企医師会、東松山商工会、川島町商工会、吉見町商工会、鳩山町商工会、ときがわ町商工会、東秩父村商工会、小川町商工会、嵐山町商工会、滑川町商工会でした。

訪問した商工会のうち7つの商工会の事務局長と懇談することができました。どこの商工会でも最

低賃金の時給31円引き上げはかなり厳しいという反応がありました。「物価高のなか賃金を引き上げをしないことばかり、賃上げをしないが、原資がなく厳しい状況だ」という声が出ています。ことでした。「大企業は内部留保で大幅な賃上げをできるような話だが、中小企業はとも無理。一時的な支援ではなく恒久的な支援(社会保険料の減免など)が必要」と話してくれました。

意見がまとまっておらず意見を聞いている最中だとの話でした。

(比企労連発)

本庄児玉地労連

本庄児玉地労連は、2月14日(火)の午前中、1市3町(本庄市、神川町、上里町、美里町)へ「住民の暮らしを守るため自治体で雇用される労働者の処遇改善に関する要求書」をそれぞれの自治体へ手渡しました。

本庄児玉地労連が春闘期に、各自治体へ要求書を提出するのは初めての取り組みです。

各自治体の担当課の方々は、温かく対応してくれ、要求書の内容も説明することができました。行動には、本庄児玉地労連・古澤事務局長、埼玉土建本庄支部・小泉書記長、埼労連から新島議長が参加しました。

参加した埼玉土建本庄支部の小泉書記長は、「春闘らしい取り組みができてよかった。商工会や商工会議所、ほかの労働組合なども訪問してみたい。少しずつでも関係を作っていくことが大切」と語りました。

23春闘情報

コーネットグループ労働組合は、昨年7月に春闘要求作成アンケートを配布・回収し、9月には「私の要求カード」の取り組みを進めました。これは、労組員一人ひとりが自分の要求を書き、職場内で共有して提出するもので、寄せられたカードは冊子にして経営に渡しています。1月7日の労使政策討論集会の場で経営に渡したカードには、この間の物価高騰で生活が厳しくなっている状況やベースアップを求める声がたくさん書かれていました。

春闘要求書は1月16日に提出し、1月30日に回答書を受け取りました。今春闘の最大テーマである大幅なベースアップの獲得については、時給労働者は要求時間額100円引き上げに対し回答額50円(昨年回答額20円)、一般職の月給労働者は要求月額1万円引き上げに対し回答額3000円(昨年5000円)です。これから回答評価をまとめ、2月11日に第1回交渉を予定しています。

(コーネットグループ労組発)

合同支部が討論集会(建交労)

建交労合同支部は2月4日(土)春闘討論集会を開催、分会、書記局から19人が参加しました。

会場は埼労連2階会議室をホスト会場に、Zoomによるオンライン併用で行われ、現地5人、オンライン14人でした。

加藤合同支部書記長が23春闘方針案について、情勢の特徴、春闘の具体化と闘争配置などを報告しました。その後春闘学習として埼労連・新島議長を講師に、「命と暮らしを守る」の内容で講演があ



会場とオンラインで学習



講師の新島議長

りました。

新島さんは、「日本の賃金は1997年から上がっておらず、欧米先進国と比べて低水準のまま」であること、一方で「大企業は配当金や内部留保が右肩上がりになっている」ことなどを紹介。また、「改憲勢力が安保3文書を閣議決定するなど、戦争する国に踏み出す危険な状況のなかでの春闘であり、日本国憲法と世界人権宣言が生かされる春闘にしよう」と呼びかけました。

参加者から「新しく執行委員になっても、なかなか勉強ができない状況。これを機会にいろいろ学んでいきたい」「今日の内容を職場の春闘に活かしていきたい」「組織拡大を頑張りたい」等の感想がありました。

(建交労合同支部発)

最賃宣伝

埼労連と労働法制改悪反対埼玉連絡会主催の最賃・労働法制に関する定例宣伝が2月15日(水)午後5時30分から浦和駅東口で行われ、6団体・12人が参加しました。

全国一律最賃制実現を求める訴えに加え、労働相談フリーダイヤルの入ったポケットティッシュなどを配布しながら、「コロナ禍のもとで労働環境が悪化し、さらに物価高騰が追い打ちをかけて国民



署名に協力してくれる人も多数

給食費は無償化へ

の暮らし厳しくなっている」「ともに暮らせる賃金めざして声をあげよう」「職場での悩みや仕事のトラブルは、気軽に労働組合に相談を」と呼びかけました。今回の宣伝では、「働くなかまの春をよぶつどい」の事前宣伝を兼ねて、つどいのチラシと一緒に配布しました。とても寒い日でしたが、チラシの受け取りも比較的良く、改めて労働組合を知らない人たちに広く周知するとりくみが重要だと実感できました。コロナ禍・物価高騰などで労働

2月3日(金)に、浦和駅西口で学校給食の無償化を求める埼玉連絡会が初めての宣伝・署名活動をおこない、15団体80人が参加しました。

当日は肌寒い中でしたが、1時間学校給食の要求署名138筆が寄せられました。

各団体が3分間のリレートークを行い、「軍事情費にお金を使うよりも物価高に苦しむ子育て家庭に予算を」、「食料自給率の向上こそが安全保障だ」、「三ヶ月滞納すると給食を止めますと学校から



浦和駅東口にて

者の不安が広がっているときだからこそ、労働組合の存在が求められる情勢にあります。

手紙がきた。無償化すれば子どもにこんな悲しい思いをさせなくてすむ」など、それぞれの思いと決意を語りました。

大きな横断幕を広げ、のぼり旗24本、チラシ400枚を配布。子ども連れのお母さんや若夫婦、高齢の方などが次々に足をとめて署名に応じてくれました。

「お母さんが大変そうだから」と中学一年生も署名。さいたま市緑区のMさんが「お母さんたちに頼むから」と署名を数枚預かってくれました。

3月の上映案内

3月の上映は「テレビで会えない芸人」です。

『憲法くん』で有名な松元ヒロさんがスクリーンに登場！ スタンタップコメディアン・ピン芸人である松元ヒロさんの生き方、笑いの哲学から現代社会を映し出したドキュメンタリー映画です。

日時 3月24日(金)

① 10時30分

12時

② 14時～15時

30分

③ 18時30分

20時30分

場所 埼玉会館小ホール

配布している



埼玉共専用の入場整理券を利用すると900円でご覧いただけます。

【今後の上映予定】

4月25日(火) 月光の夏

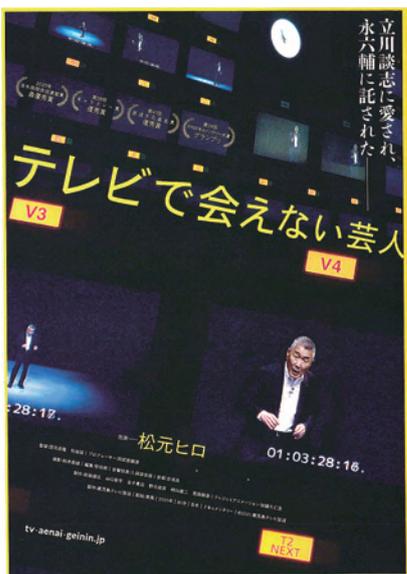
5月26日(金) 島守の塔

6月27日(火) ブータン山の教室

室

上映に関するお問い合わせは、埼玉映文協まで

048-822-7428



コンサートの紹介 アイエス



アイエスによるコンサートの割引販売です。単産・地域組織に送付しています「案内チラシ」を利用し、希望される方は直接お申し込みください。

ラインナップ

5月15日(月)・大月みやこ

伍代夏子・香西かおり

大宮ソニックスティイ14時

6月8日(木)・純烈

ウエスタ川越18時

6月22日(木)・五木ひろし

ウエスタ川越14時

7月7日(金)・天童よしみ

サンシティ越谷14時

＊いずれも3900円で申し込みできます！ お問い合わせはアイエスまで(配布チラシ参照)

家計を応援

ろうきんが4月から「家計応援ローン」年金利1.2%を開始します。

労働者のための金融機関である「ろうきん」は、異常な物価高騰から労働者を支援するため、低金利の個人融資商品を開始することになりました。貸付金は50万円以内です。

また、借りにあたって一定の条件があります。

詳しくは、所属している組合の役員、中央ろうきんのHP(ホームページ)または口座をお持ちの店舗まで。

「家計応援ローン」を利用できるのは、団体会員かつ中央ろうきんと個別に協定を結んだ労働組合に所属している組合員に限定されます。

トルコ・シリア地震の被災者支援にご協力を！

2月6日に発生した大規模地震により、トルコとシリアで4万人以上が亡くなり2300万人が被災する事態となっており、被災者支援をおこなうため支援カンパを呼びかけます。2月6日早朝(現地時間)にトルコ南部で発生した大規模な地震により隣国シリアを含め2300万人が被災する可能性があるとしてWHOが発表(2月8日)し、4万人以上が亡くなるという甚大な災害となっています。また、シリアは内戦状態にあり難民をさらに多く生み出す可能性が高まっており、被災者支援をおこなうため財政支援カンパを取り組みます。

全労連および埼玉ユニセフ協会を通じて、寄せられたカンパを拠出します。

受付期間は5月26日まで。ご協力ください。